

昔の子供の教科書にみる衛生事情 ：特に国語（読本）教科書から

滋賀医科大学附属図書館
菅 修一

第25回医学情報サービス研究大会

2008年7月12日（土）一般演題。（医史学）01.

国語(読本)で医学・衛生教材

現代のイメージとの異なり

現代なら 学校教育において医学・衛生教科というと、「保健」あるいは「理科」。

明治から昭和初期までの日本の小学校教科書国語(あるいは読本)の中に多数あった。

卷三 目次

第一課	太陽……………	一
第二課	都の花見(女の書翰)……………	二
第三課	熊野……………	五
第四課	迂闊なる醫學生……………	七
第五課	胃の腑の説論……………	九
第六課	食物……………	十一
第七課	動物の自衛……………	十三
第八課	大塔宮吉野落……………	十六
第九課	蜜蜂……………	十九
第十課	一家の經濟……………	二十一
第十一課	孟子の母……………	二十三

第十二課	瀑布……………	二十五
第十三課	富士登山(上)……………	二十七
第十四課	同 (下)……………	二十九
第十五課	短篇一束 (牙と指、虎のな、世は相持)……………	三十二
第十六課	分業……………	三十三
第十七課	望遠鏡の發明……………	三十五
第十八課	星ノ話……………	三十六
第十九課	少年駱駝御者……………	三十九
第二十課	埃及のピラミッド……………	四十四
第二十一課	物價の事……………	四十六
第二十二課	貨幣及び為替……………	四十八

読本 = 総合読本

人文・社会・自然あらゆる分野の教材が入っていた。

「保健」が教科としてなかった。

理科が教科として登場するのも明治20年代になってからであった。

国語の占める比重は大きい。

* 明治33年小学校令施行規則 第四号表
尋小 4年 15時間 / 27時間が国語

第五 - 七号表

高小 男子 10時間 / 28時間が国語
理科は2時間

右は

国語読本高等小学校用 卷三
坪内雄蔵著 明治33(1900)年
富山房

教科書の紹介：教科書史の時代区分に従って

自由採択期 - - 明治5(1872)年学制

開申制度(届出制) - - 明治14(1881)年

認可制度 - - 明治16(1883)年

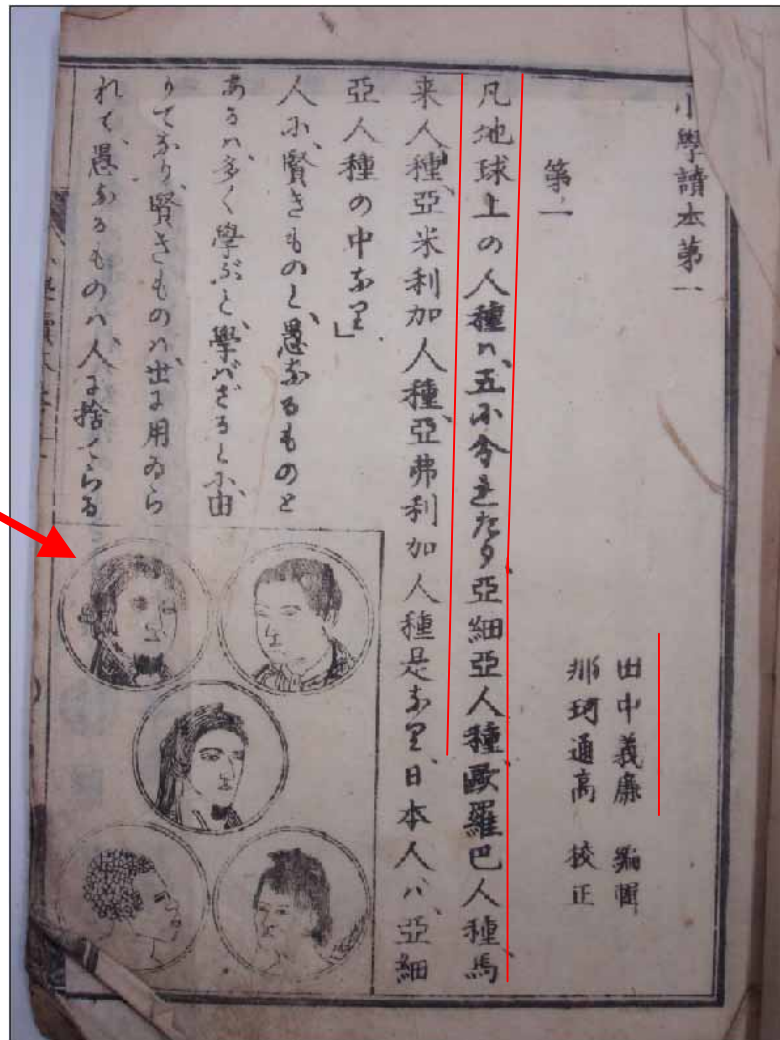
検定制(明治検定期) - - 明治19(1886)年

国定制 - - 明治37(1904)年から使用

***終戦後,昭和22(1947)年まで

自由採択期 - - 明治5(1872)年学制

- 文明開化 - - 欧米の教育制度に倣う - - 翻訳教科書
- 自由採択 - - 国家的統制少ない
文部省刊行教科書は見本として作成
- 翻刻 - - 文部省作成教科書の翻刻多い
- 小学校制度 - - 下等小学8級，上等小学8級
* 1級，半年毎に進級



自由採択期

小学讀本 卷一から卷四まで 田中義廉編輯 那珂通高校正 師範學校編輯
 ウィルソン・リーダー(米国)の訳本 明治6(1873)年発行
 明治7(1874)年8月改正版が全国に普及各地方で翻刻

小学読本 卷三

浜松 近藤巴太郎翻刻

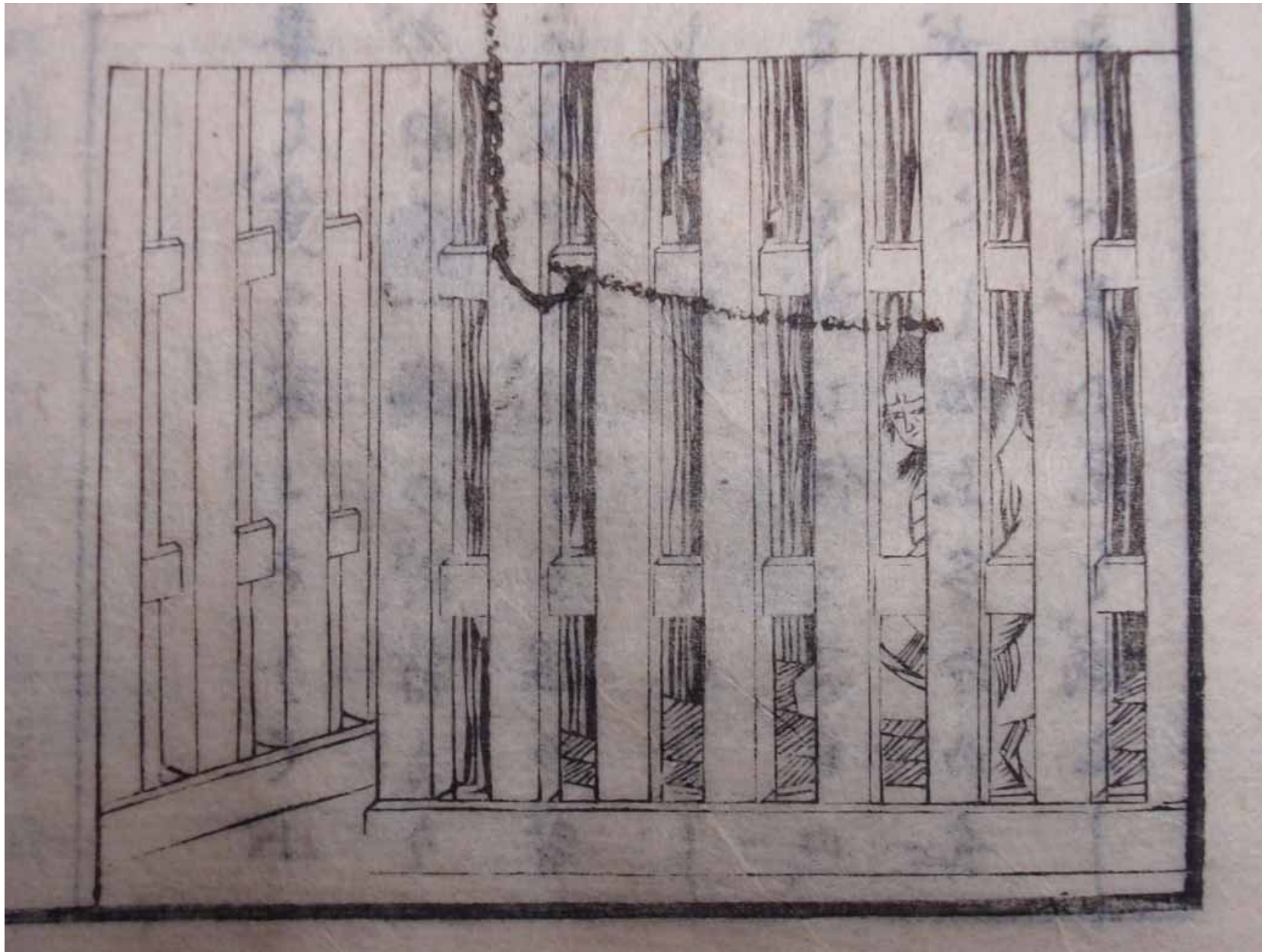
明治9(1876)年10月)

第十二から第十四

飲酒を戒める教材がある

小学教則 六級で使用
(六級 = 今の小学校2
年の前半)

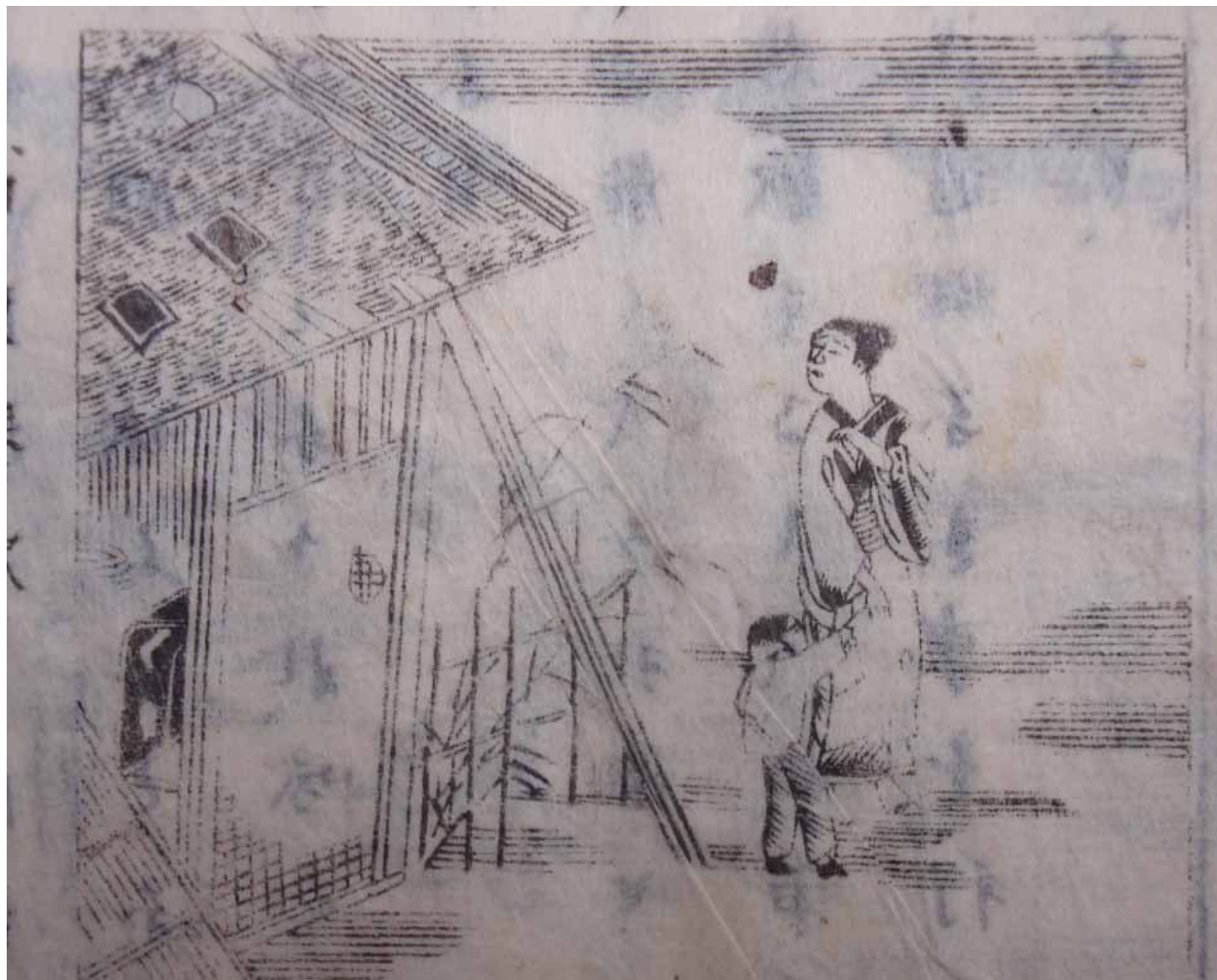




小学読本 卷三 浜松 近藤巴太郎翻刻 明治9(1876)年10月
第十三



小学読本 卷三 浜松 近藤巴太郎翻刻 明治9(1876)年10月
第十四 以下: * * 当時の教科書の翻刻の面白さ 服装に注目



小学讀本 卷三 堺県翻刻版 明治6(1783)年5月 第十四



明治七年五月
文部省

小学讀本

滋賀縣下學校用翻刻

讀本卷之二

第一

大陽ハ日輪をいひ大陰ハ月輪をいひ惑星或く遊星といふハ其數多しといふことも其中最も大なる者水星金星地球火星木星土星天王星海王星の八あり此ハ星々皆世界なり惑星に従ひて大陽を繞るを衛星といふ地球に従ふ者一即大陰なり木星に従ふ者四土星に八天王に八海王に一あり

神原芳野 編次

衛星ハ何箇ありや

惑星の大ちりといふの星々

小学讀本

卷之二

大陽

小学讀本 卷二 神原芳野編 明治8(1875)年11月 彦根 小川九平ほか御届
日本の従来の文化的土壌の中で教材を作成 卷四，五は那珂通高，稻垣千穎編

落るを添しいふ又施の字を用ゐる古、激流を
たきし稱へし故用の慣れたるなり

第十三

頭上を頂といふ頂の前より在りて小児の時跳動
する處を顛と稱ふ顛の前髪の際より下を頰と
いふ頰の下鼻の左右を頰と稱ふ口を開合する
骨を頤と稱ふ目の上下を瞼といひ其毛を睫と
いふ内眦ハ鼻より近き處外眦ハ耳より向へる方
なり

第十四

耳の下に垂るる處を耳垂と稱へ耳中の垢を聾
を稱ふ口の上下邊を唇
といひ左右を吻といふ
又口下の骨を頤といふ
口中の蹻と同名なり口
中兩傍の上下の在るを
牙といふ上下を排うを



齒といふ其生るる處の肉を齦といふ

第十五

胸の両乳の間より其裡を膈といふ左右の手

顛顛といふ
の處を

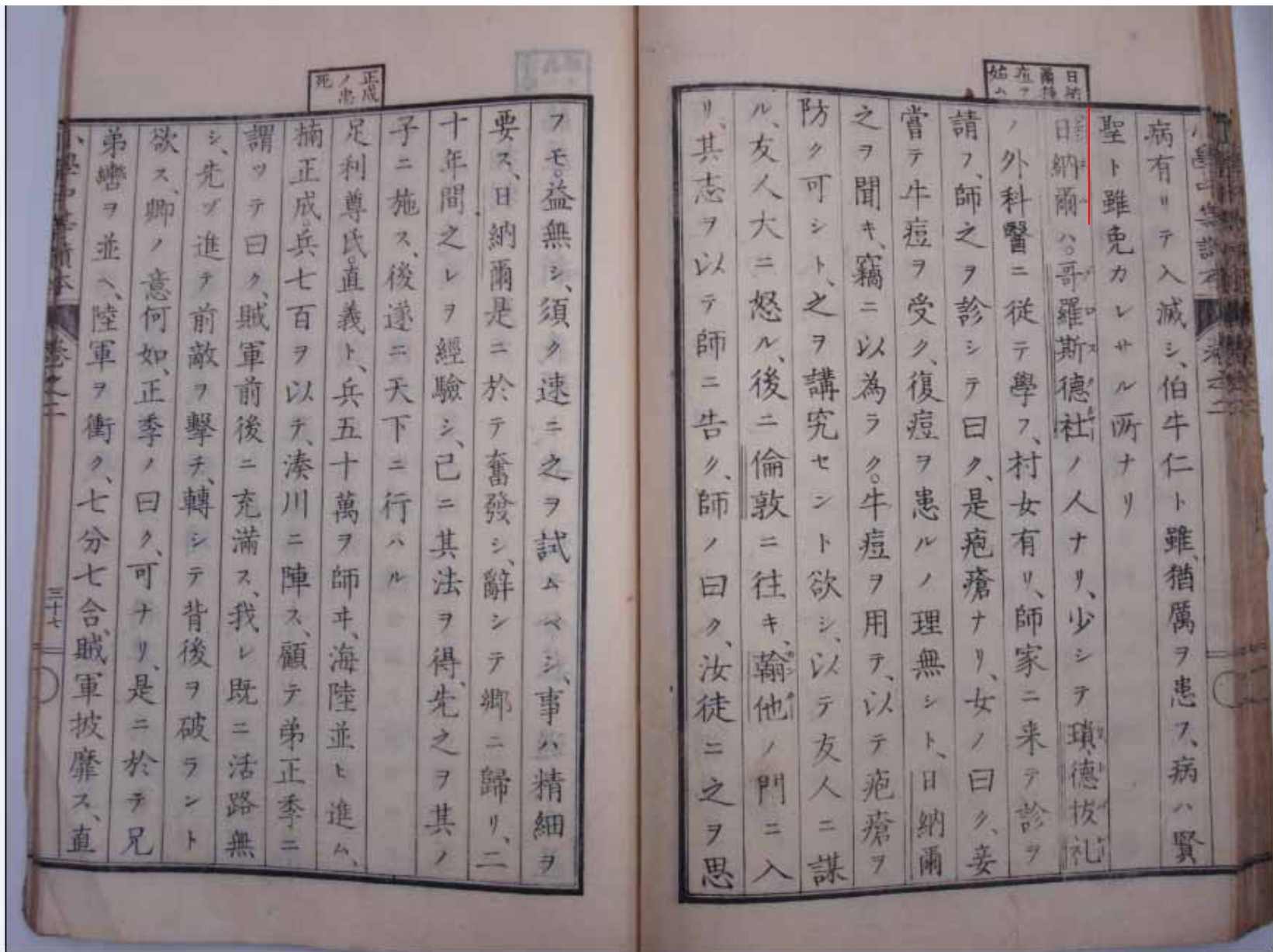
内眦ハ鼻
の別如何

齒牙の別
如何

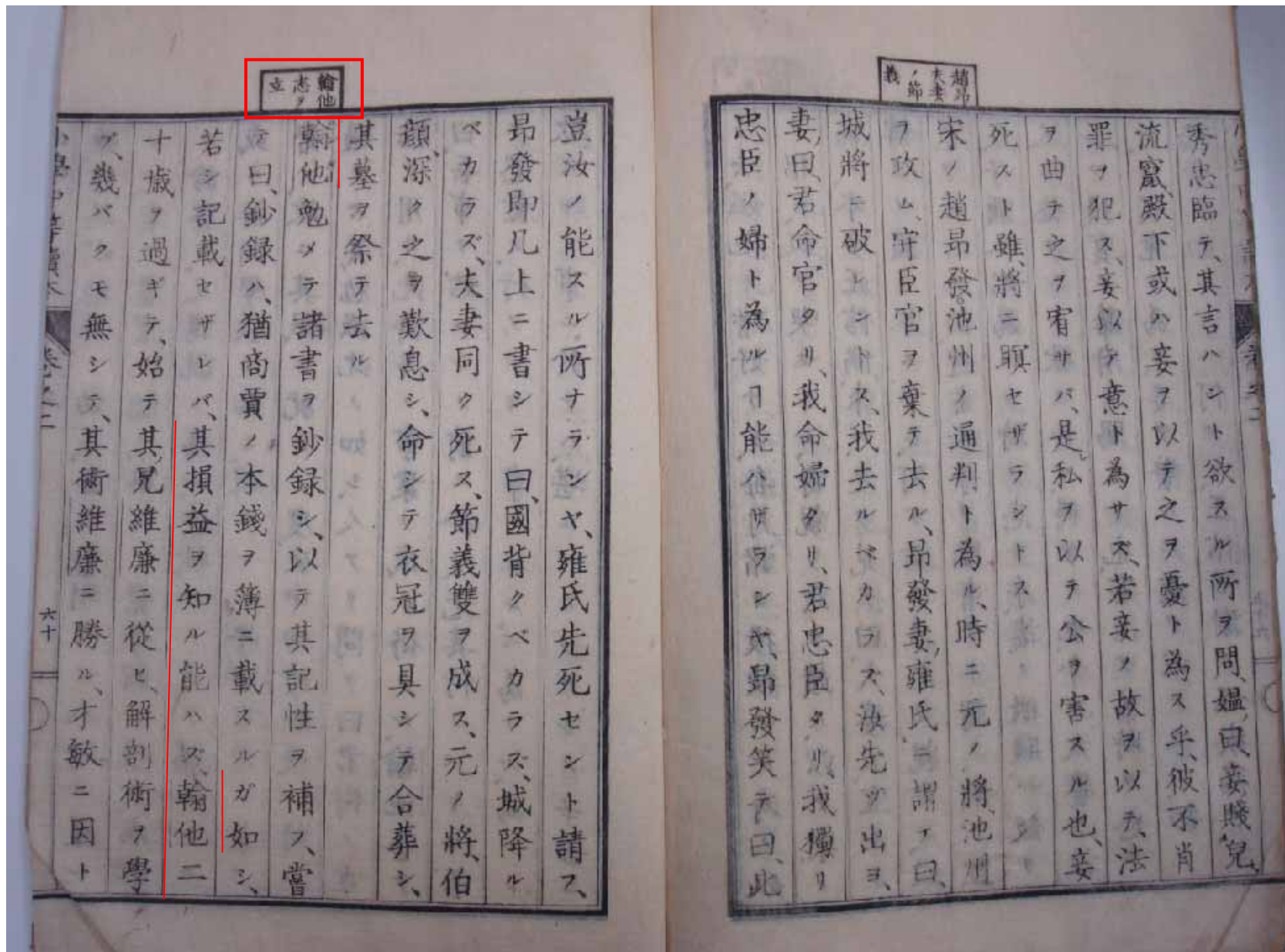
小学読本 卷二 榊原芳野編 明治8(1875)年11月 彦根 小川九平ほか御届
5丁裏 - 6丁表 第十四 身体表面の名称 内眦 (マカシ) = 目頭 外眦 (マシク) = 目尻

開申制度（届出） - - 明治 1 4 (1881)年
認可制度 - - 明治 1 6 (1883)年

- 自由採択期からの揺り戻し
- 漢文教材 ・ 伝統的教材
- 理科 ・ 地理的教材
- 明治14年 小学教則大綱
* * 小学校 初等科3年 中等科3年 高等科2年



小学中等読本 卷二 木澤成肅 編 明治14(1881)年 東京 阪上半七 版權免許
 36丁裏 - 37丁表 日納爾(ジェンル)の種痘に関する教材 なお 60丁表-61丁表に「翰
 他(ハンター)志を立」という教材あり ハンター = 18世紀の著名な外科医ジョンハンターのこと



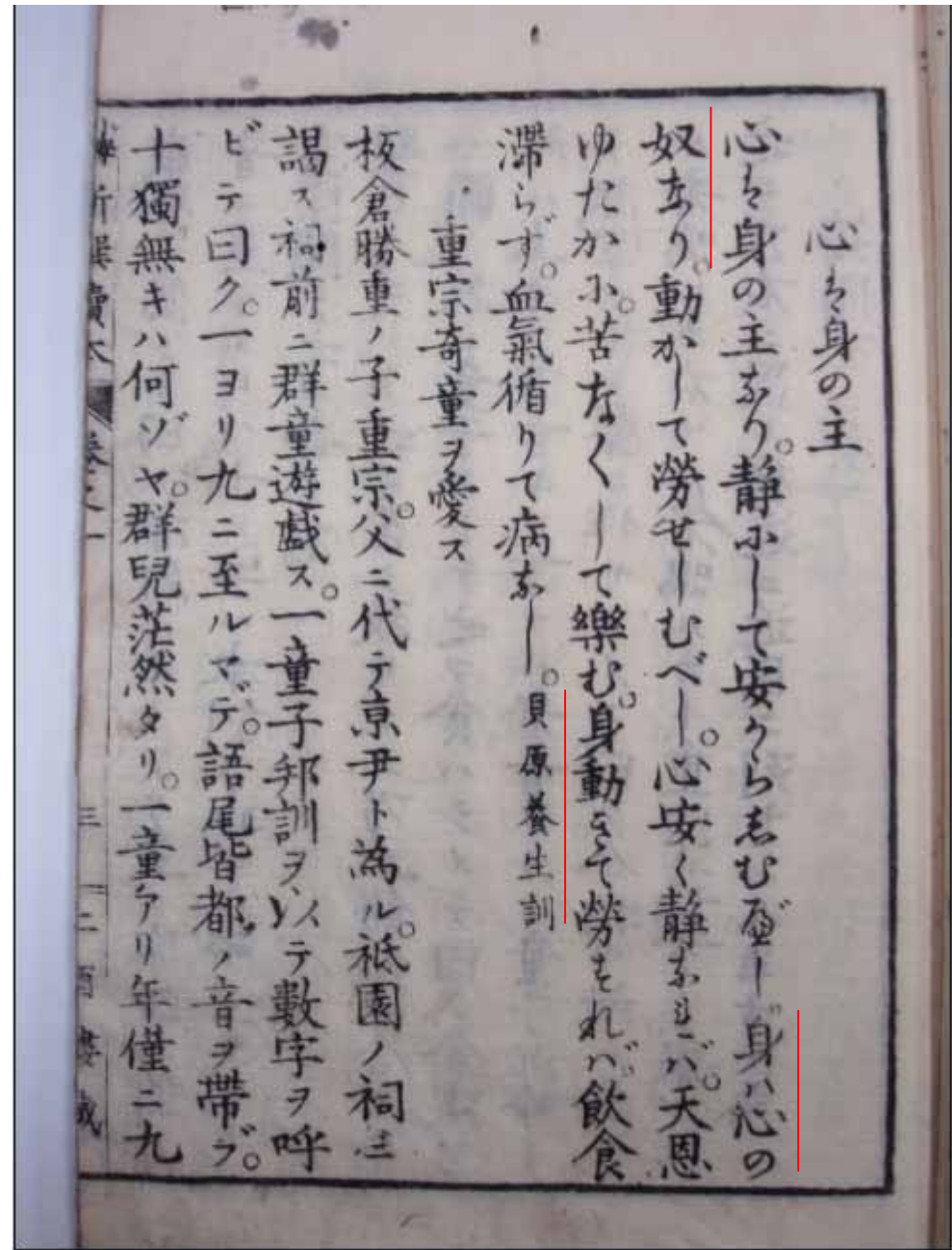
小学中等読本 卷二 木澤成肅編 明治14(1881)年 東京 阪上半七 版權免許
 60丁表-61丁表に「翰他（ハンター）志を立」という教材あり
 ハンター = 18世紀の著名な外科医ジョン・ハンターのこと

小学中等新撰読本 卷一 平井義直

明治17(1884)年9月
京都 杉本甚介発行

3丁表 心は身の主

貝原益軒・養生訓より



物ノ性分ヲ撰ビテ、適
 度ニ之ヲ與ヘ、常ニ過
 食スルコトナカラシ
 メタルニ、飽食セシメ
 タル小猿ハ、身體漸ク
 疲羸シ、鬱々トシテ憂
 フル所アルガ如ク、治
 療ヲ施シタレドモ、竟
 ニ斃レタリ、適度ニ食



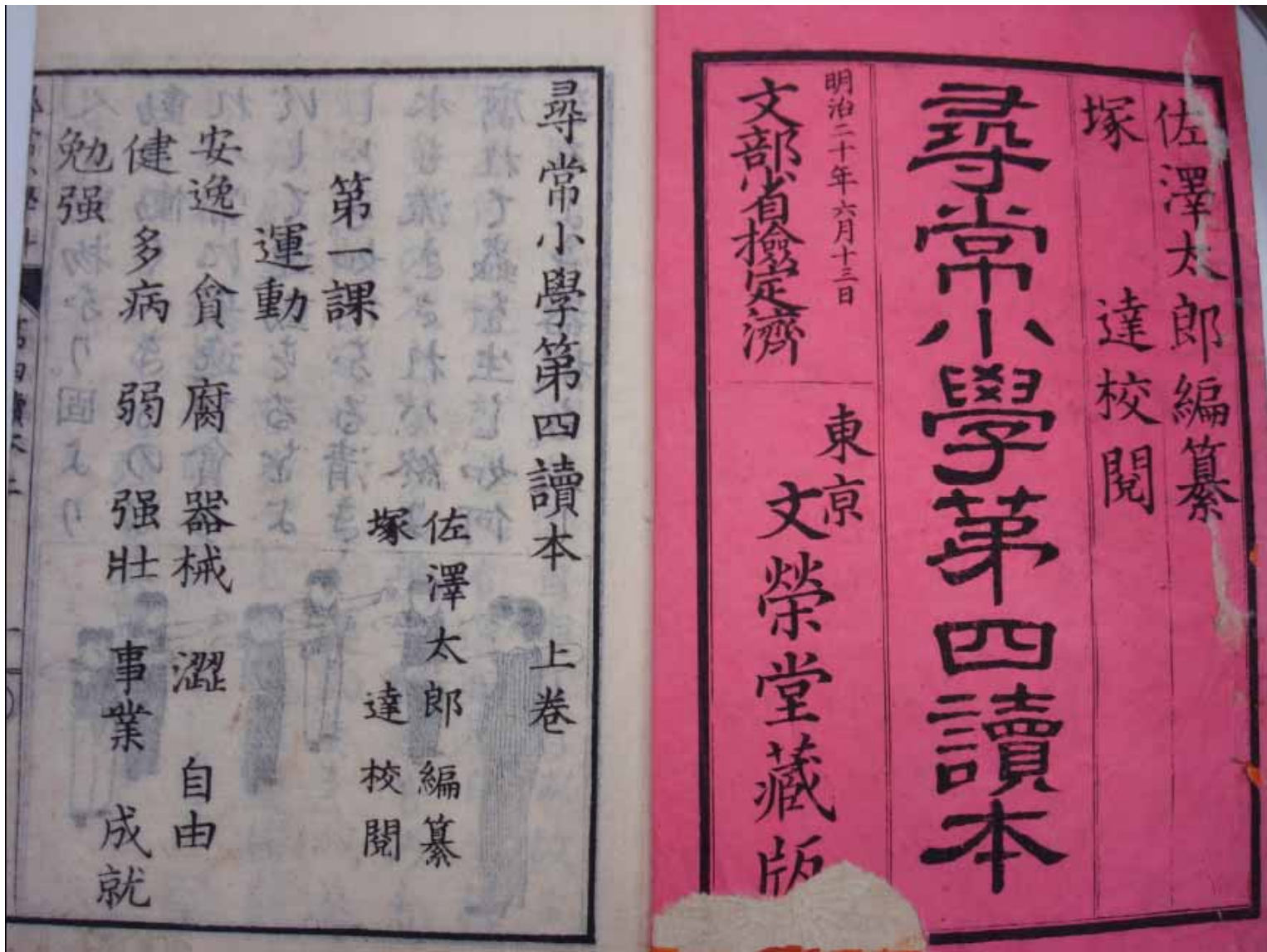
ヲ與ヘタル小猿ハ、身體日々ニ肥滿シ、跳躍
 戲樂シテ、顔面喜色ヲ帶ビ、終始疾ナクシテ、
 天年ヲ全クセリ、
 又英國ニ、ローハト稱セシ人アリ、齡百五十
 二歳ニ至レトモ、毫モ老衰スルコトナク、少
 年壯者ト共ニ職業ヲ勉メテ、更ニ勞色ナシ、
 英王之ヲ奇トシ、一日召シテ之ヲ見ルニ、只
 頭髮ニ白キヲ雜ヘタルノミ、視聽ノ力、進退
 ノ舉動、總テ少壯ノモノト異ナルコトナシ、

新編小学読本 卷六 平井正編 明治16(1883)年5月版權免許 東京 石坂徳次郎 出版
 第四章 飲食 小猿に食事を与えて実験，
 ローハは英国トーマス・パー 1483年-1635年152歳の話

明治検定期--明治19(1886)年から

- ・ 森有礼文部大臣
- ・ 明治19(1886)年 小学校令
- ・ 尋常小学校4年 , 高等小学校 2 ないし4年
- ・ 教科書検定制度
- ・ 教材整備
- ・ 日清戦争 - - 日本国民意識の形成
(それまでは藩意識が強かった)

日清戦争 = 1894年(明治27年)7月から1895年(明治28年)4月



佐澤太郎編纂
塚 達校閱

尋常小學第四讀本

明治二十年六月十三日

文部省檢定濟

東京

文榮堂藏版

尋常小學第四讀本 上卷

佐澤太郎編纂
塚 達校閱

第一課

運動

安逸 貪腐 器械 澀 自由
 健多病 弱 強壯 事業 成就
 勉強 固

尋常小学第四讀本 佐澤太郎編纂 明治20(1887)年訂正出版 東京 文榮堂 發行

尋常小学科 第四讀本 上
人ハ動物ナリ。固ヨリ
動き働クべきものな
れバ。常に安逸ヲ貪ら
ずして。運動するをよ
しとす。如何なる清き
水も流まざれば。終ニ
腐れて蟲を生じ。如何
なるよき器械も。久し



く用ひざれば。澀りて自由ならざ。故ニ
生進付き健ウなる人も。運動足らざれ
バ。多病の人となり。又平生弱きものも。
日々時間を定めてよく運動をまじバ。遂
ニ強壯の人となるべし。人若し強壯な
らざれば。總べての事業一として成就
をることなく。勉強も其甲斐なウるべ
し



鉢ニハ多ク炭火ヲ燒
 キテ暖ヲ取り。餘念ナ
 ク戯レ居タリ。其ノ時
 間ニシテ皆何トナ
 ク不快ヲ感ゼシカハ
 各其ノ故ヲ知ラズシ
 テ怪ミタリ。其ノ時
 一人ノ少年衆ニ向ヒ
 テ余レハ曾テ學校ニ

の業を遂ぐることに此の如し。況して五官
 完きものをや。
 彩色。粗密。香臭。辛。知覺。不幸。孜孜。塙。保
 己一篤。毫。典籍。博聞。強記。傳。源氏物語。
 講。暫。忍耐。盲者。況。完。
 第三 炭酸瓦斯
 アル夜數多ノ少年集リテいろは牌子ノ遊
 ヲセリ。アリフシ嚴寒ノコトナレバ障子襖
 ヲ立テマハレテ。風ノ入ラガルヤウニシ火

初学第八読本 島崎友輔 明治20(1887)年9月版權免許 大阪 前川善兵衛発行
 第三 炭酸瓦斯

第六 炭酸瓦斯及ビ呼吸 其二

吾等ハ瞬間モ呼吸ヲ止ムルコトナク、常ニ酸素ヲ吸入シテ、炭酸瓦斯ヲ呼出スルモノナレバ、新鮮ナル空氣ヲ要スルコト知ルベキナリ、實ニ新鮮ナル空氣ハ、心身ヲ活潑健全ナラシムルニ、最も緊要ナリトス。

呼出シタル炭酸瓦斯ハ、再ビ生活ヲ助クルコト能ハザルヲ以テ、人若シ過量ニ此瓦斯ヲ呼吸セバ、眩暈ヲ發シ、甚ダシキハ死ニ至ルコトアリ、故ニ室内ハ常ニ通氣ニ注意シ、呼出氣ヲ排除シテ、

新鮮ノ空氣ヲ導入スルコトヲ務メザルベカラズ、之ヲ爲スニハ、先ヅ炭酸瓦斯ノ性質ヲ知ルヲ要ス、抑モ此瓦斯ハ、空氣ヨリ重キヲ以テ、下層ニ止マルヲ常トス、然レドモ新タニ口中ヨリ呼出スルモノハ、温暖ナルヲ以テ、膨脹シテ其比重ヲ減シ、上層ニ昇ル、故ニ通氣ノ宜シカラザル室内ニテハ、此不潔ノ氣昇リテ、天井下ニ充滿スルコト必然ナリ、而シテ冷ユルニ及ビテハ、忽チ收縮シ、降リテ床上ニ充ツベシ、故ニ室内ニハ上下共ニ充分通氣ニ適セル法ヲ、設ケザルベカラズ。

新撰高等小学讀本 卷五 育英舎 明治27(1894)年3月訂正再版發行
第六 炭酸瓦斯及ビ呼吸 其二

大酒ヲ嗜ミシ人ノ子孫ニ多シト云フ。

第二十三課 飲酒の戒

世には心得ぬ事の多きなり。ともある事には先づ酒をすゝめて強ひ飲ませたるを興とする事如何なる故とも心得ず。

飲む人の顔いと堪へ難げに眉をひろめ人目をばかりて捨てんとしにげんとするを捕へて引きとめて漫に飲ませつればうるはしき人も忽ちに狂人となりてをこがましく息災なる人も目の前に大事の病者となりて前後も知らずたふれ伏す。

祝ふべき日などは浅まかりぬべし。あくたる様にして昨日の事覚えず公私の大事を缺きてわづらひとなる。人をしてかゝるめを見する事慈悲もなく禮義にも背けり。かく辛き目に逢ひたらん人ねたく口惜しと思はざらんや。

人の上にて見たるだに心憂し。思ひ入りたるさまに心にくしと見し人も思ふところなく笑ひのり詞多く烏帽子ゆがみ紐はづし脛高くかへけて用意なきけしき日來の人とも覺えず。女

高等小学明治讀本 卷七 育英舎編纂 明治29(1896)年11月訂正再版 阪上半七發行 第二十三課 飲酒の戒 徒然草の文章から・・・酒席の無作法の見苦しさを描く

も思ひ出で、泣くめる。(陸奥野)

第二十四課 看病人の心得
父母兄弟親族朋友等の疾病に罹ることあらんには是非共これが看護に従事せざるを得ざることあるものなれば誰人も看護法の心得あるべきなり。

看病の第一要點は適當なる病室を供給するにあり。病室は成るべく廣くして空氣の流通をよくし、光線温度等を適度ならしむべし。病室は他の室と隔離して、安靜ならしめ、且つ成るべく看病人

の外は室内に入らざるをよしとす。特に病室の清潔に注意し、食物の殘餘、飲食器、排泄物等を室内に置くべからず。病床は患者の頭部のみ壁に接し、他の三面は自由に通行し得べきを可なりとす。又、患者の身體は特に清潔ならしむべし。衰弱したる患者の顔面及び手足或は其の他の部は微温湯と海綿とを以て、一日一二回宛之を拂拭し、又、日齒を磨き口を清潔にし、患者の襦袢、下着等は屢交換し、夜具蒲團を清潔にして、患者をして爽快を覺えしむべし。

高等小学明治讀本 卷七 育英舎編纂 明治29(1896)年11月訂正再版 阪上半七發行
第二十四課 看病人の心得
病室を用意すること 患者の身体を清潔に 看護人の注意・心得ること

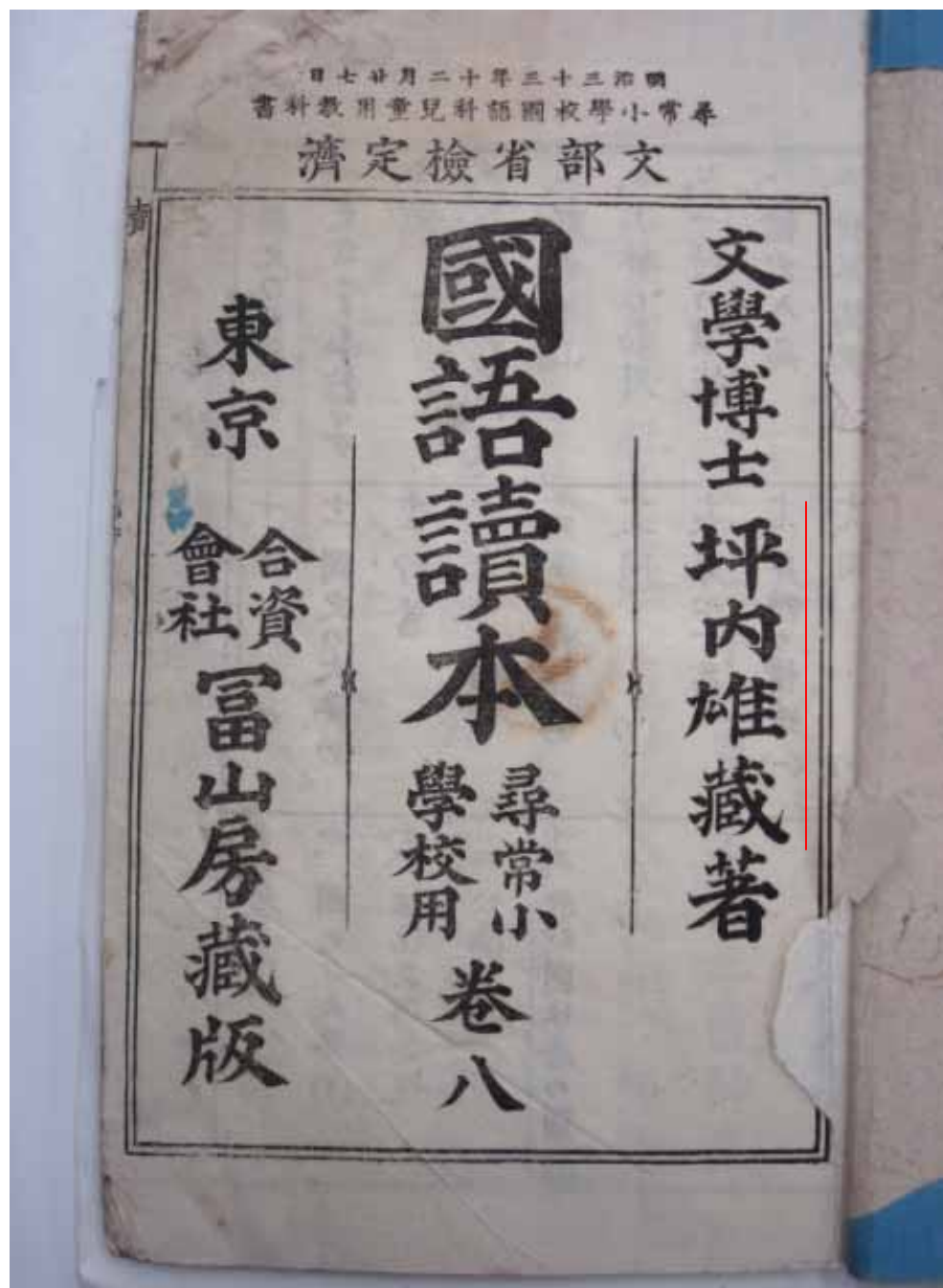
国語読本尋常小学校用

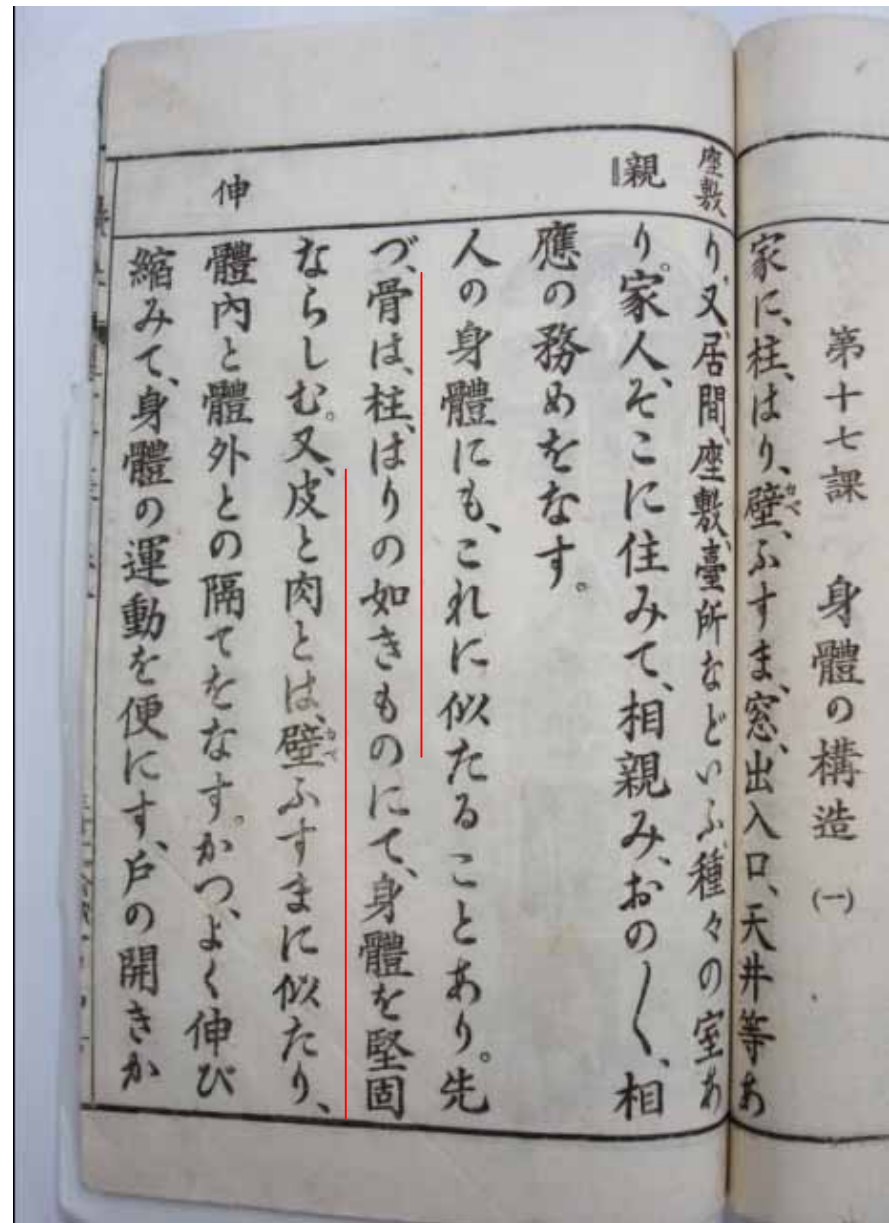
卷八

坪内雄蔵 (= 逍遥) 著

明治33(1900)年12月訂正再版

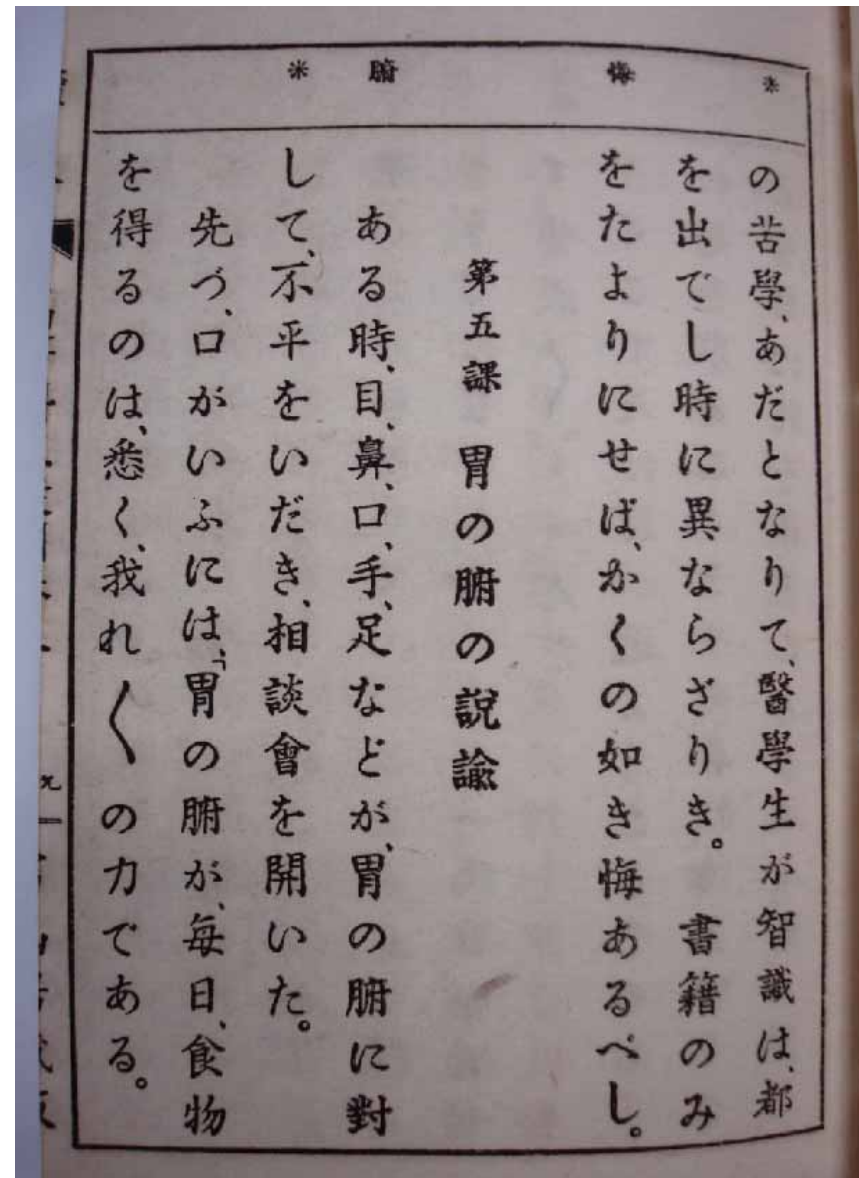
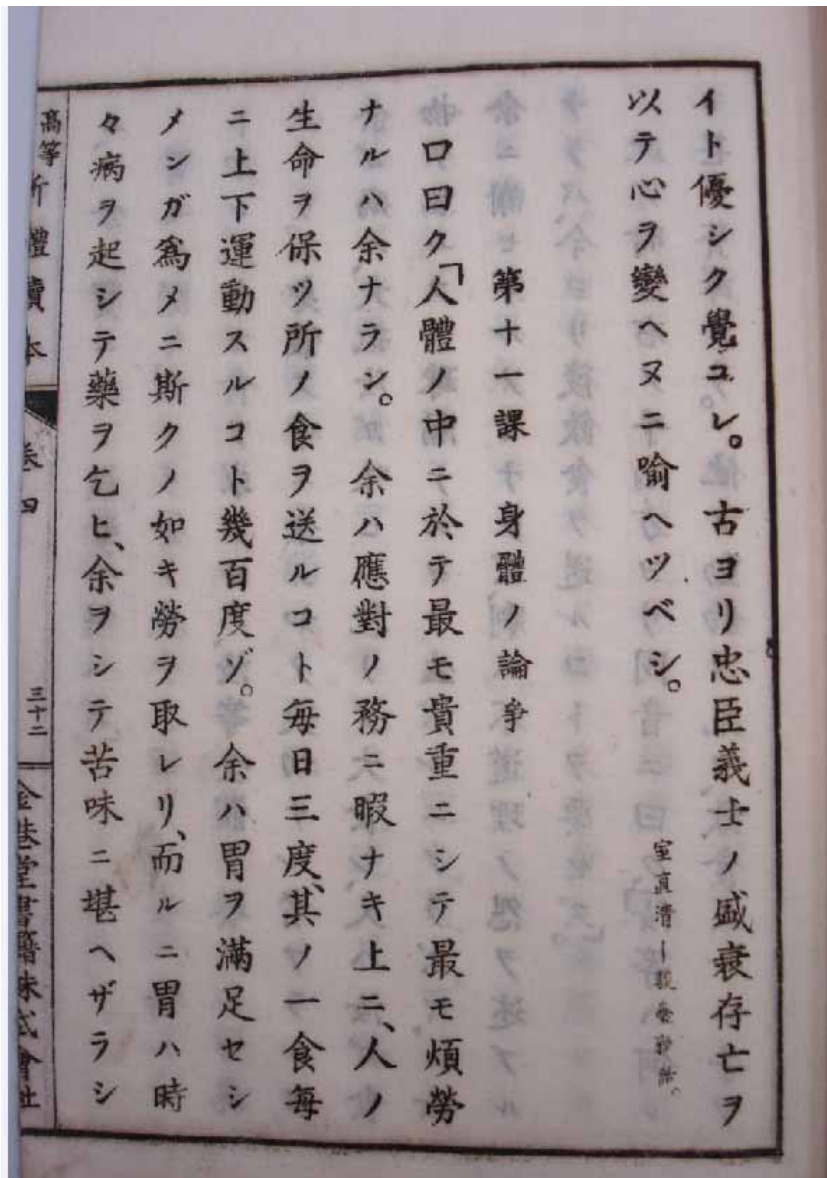
東京 富山房





国語読本尋常小学校用 卷八
 明治33(1900)年12月訂正再版
 第十七課 身體の構造 (一)

坪内雄蔵 (= 逍遙) 著
 東京 富山房
 頭は奥座敷，脳は一家の主人



イソップ物語から、擬人法により身体各部の機能を説明。

高等小学新体讀本 卷四

金港堂書籍編輯所編

明治27(1894)年11月訂正再版 金港堂

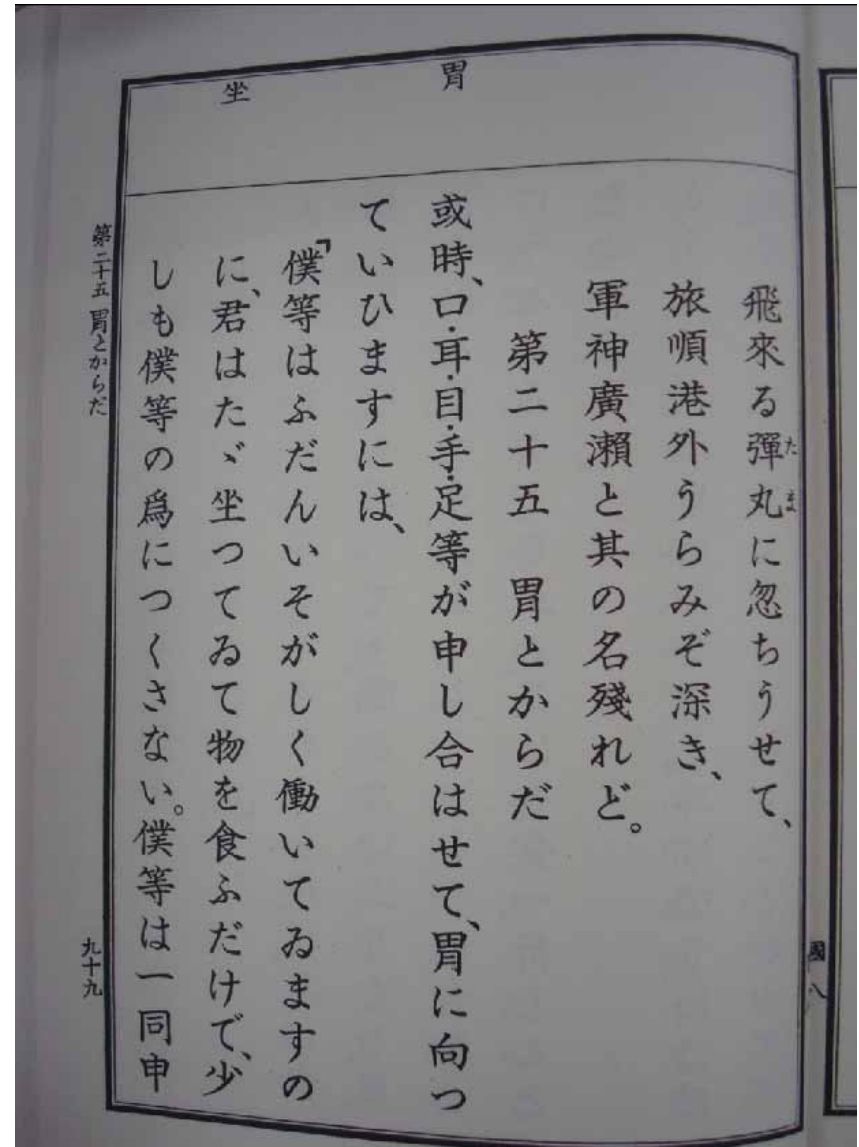
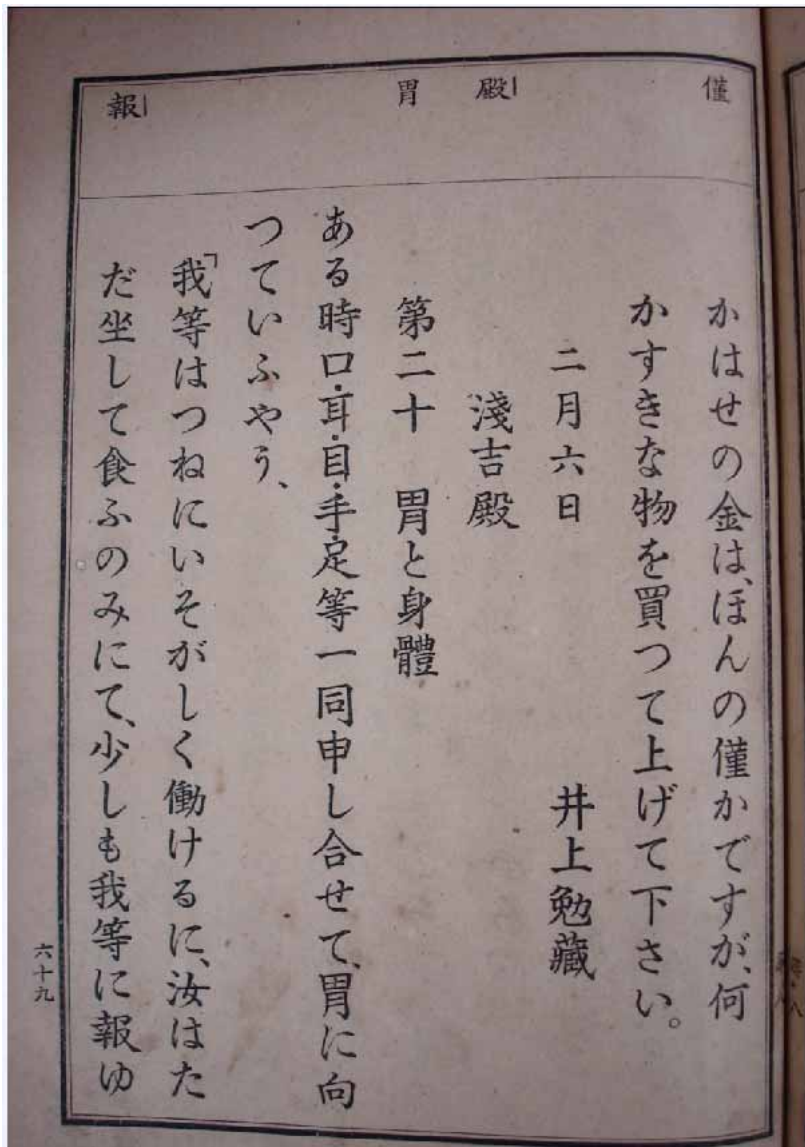
国語讀本高等小学校用 卷三

坪内雄蔵著 明治33(1900)年12月訂正再版

富山房

国定期――明治37(1904)年から使用

- ・教科書の種類 1種類だけ
- ・教科書の一層の国家統制
- ・教材における国家主義
- ・明治検定期を引き継ぐ教材あり
- ・高等小学校教科書における実用主義



イソップ物語から、擬人法により身体各部の機能を説明。

国定第2期 尋常小学読本 卷八
大正4(1915)年翻刻 第二十 胃と身体

国定第3期 尋常小学国語読本 卷八
昭和8(1933)年6月修正翻刻 第二十五 胃とからだ

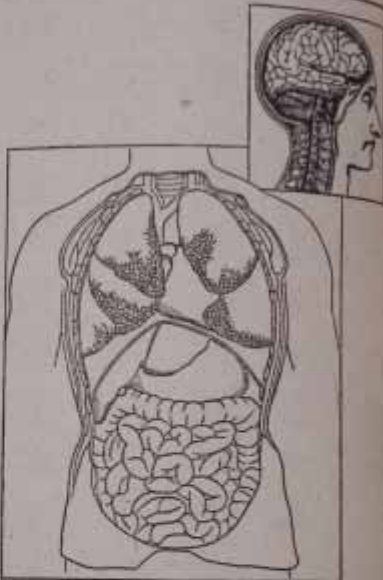
内 骨

カラダノ胸ノ
シンニハ、脊骨
ガトホツテキ
ル。マタ、手ト足



三十二

トノシンニモ、ソレゾレ、骨ガトホツテキル。骨
ハ、家ノ柱ガ家ノカタチヲタモツヨ一ニ、カラ
ダノカタチヲタモツモノデアル。
カラダノ内ニハ、三ツノヘヤガアル。第一ノヘ
ヤハ頭デ、中ニハ、脳髓トイフモノガハイッテキ



デアルカラ、頭蓋骨トイフ骨ガ、ヘヤノカベニナッ
テキテ、ダイジニ、ソレヲ守ッテキル。
第二ノヘヤハ胸デ、胸ノ内ノ右ト左トニハ、肺
臓、肺臓ノ間ニハ、心臓ガハイッテキル。肺臓ハ、口

三十三

尋常小学読本 卷七 文部省著 明治36(1903)年9月発行 昭和27年6月 広島図書復刻
第十 人ノカラダ 家に喩えての説明

ヤ鼻カラ、スヒ入レタ空氣デ、血ヲキレイニシ、
心臟ハ、肺臟カラクル、キレイナ血ヲ、カラダジ
ーニ、メグラセル。コノ心臟ト肺臟トハ、マタ、ヨ
ホド、ダイジナモノデアルカラ、ヘヤノカベハ、
タクサンノ、肋骨トイフ骨デ、デキテキル。
第三ノヘヤハ腹デ、マク一枚テ胸ト、シキッテア
ル。腹ノ中ニハ、胃ガハイッテキテ、ソノ下ニハ、腸
トイフ、長イモノガ、マガッテ、カサナリアッテ、ハイッ
テキル。胃ハ、口デ、タベタモノヲコナシテ、腸ニ、

オクル。腸ハ、胃デ、コナレンモノヲコナシ、コレ
ヲ、胃デ、コナレタモノトマゼテ、ソレカラ、養ニ
ナルモノヲ取ッテ、ソノヘンヲメグッテキル血ニ
マゼル。
人ノカラダハ、マヅ、コンナシカケデアル。コレ
ヲジョーブニスルニハ、養ニナルモノヲタベル
コトト、運動スルコトトガ、イチバン、ダイジデ
アル。

第十一 煙草と酒。

尋常小学読本 卷七 文部省著 明治36(1903)年9月発行 昭和27年6月
広島図書復刻 第十人ノカラダ 第十一 煙草と酒

佛教の廣く東洋諸國に流傳して、文明史上の一大勢力たりしは人の能く知る所なり。

第三十課 統計

一家ニ就キテ見ルトキハ、男女ノ數ニ甚ダシキ差アルモノアリ。或ハ全ク女子ノミノ家ナキニアラズ。然ルニ一村ニ就キテ調査スルトキハ、其ノ差ノ割合、一家ノ如ク甚ダシカラズ。全村皆女子ナルガ如キ場合ハ殆ドコレアルコト無カルベシ。尙其ノ區域ヲ擴メテ、一郡一縣ニ及ストキハ、一郡ハ一村ヨリ、一縣ハ一郡ヨリ、其ノ差ノ割合次第ニ減少ス。カクテ全國ノ總數ニ至リテハ、其ノ差ノ割合極メテ僅少ナルヲ見ル。明治四十一年末ニ

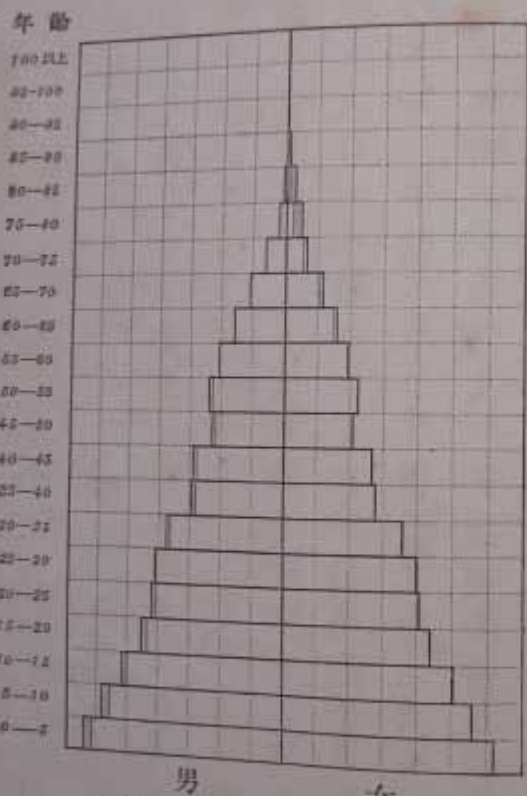
高麗三

高麗三

明治四十一年末調査
帝國人口年齢圖
總人口一萬トシテ一カ形百人ノ割ヲ以テ示ス

第三十課 統計

百三十一



圖中ノハ男ニ在リテハ同年齡級ノ女ニ對スル超過
女ニ在リテハ同ジク男ニ對スル超過ナリ。

本籍人口總數 4,258,227 男 2,504,844 女 2,452,383

高等小学讀本 卷三 文部省著 大正3(1914)年11月修正 日本書籍
第三十課 統計 高等小学校を卒業して、社会人になったとき、
グラフや表を作る力が必要だった。

ニガウ ゴザイマ
 スカ。ニガイナ
 ラ、オサタウ ヨ
 入レテ オアガリ
 ナサイ。
 イイエ。 サウニ
 ガク ハアリマ



セ^レン。
 ソ^レ ナラ、ソ^ンナニ スコシ
 ツ^ツ ノマナイデ、モ^ツト^トタ^タ
 クサン オアガリ ニ ナツタ^タ
 ラ、ハヤク ナホリマセウ。
 イ^イエ。 サウ^一ドニ^ニ ノン^ンデ
 ハ イケマセン。 オクスリ ハ

尋上小学国語読本 卷二 文部省著 大正15(1926)年4月修正翻刻 日本書籍
 第二十 オクスリ 小学1年生に薬の飲み方について理解させている。

